

競技注意事項（2024春季足立陸上）

2024 4.27-28

1 本競技会は2024年度日本陸上競技連盟競技規則と本大会の要項及び競技注意事項により実施します。小学生の記録については公認申請いたしません。

2 競技場入退場について

- (1) 「ADカード」等の無い通常の大会として開催しますが、体調管理を各自で徹底して頂き、体調の悪い方は入場をご遠慮下さい。
- (2) TICにて団体等の受付を行っています。領収書等やプロ訂正など疑問点などがありましたらお越しください。
- (3) 競技者の入場は8:15よりフィニッシュ側のゲートより各団体3名以内の方より行き、その後整列入場をお願いします（応援の方の入場もここからお願いします）。正面玄関は開きません。

3 プログラムについて

本競技会では**プログラムの配布(販売)はありません**。各自で事前に足立陸協HPよりスタートリストをダウンロードしていただくようお願いいたします。記載ミス（氏名、フリガナ、学年、所属）等があった場合は、遅くとも出場する競技の開始時刻60分前（競技場開門から60分はその限りではありません）までにTICへ申し出て正誤表を提出してください。競技終了後の訂正（賞状及び記録証の訂正を含む）は認めません。

※申込データをそのまま使用しています。

4 競技者招集について

- (1) 招集場所は、トラック競技は100mスタート地点前方北倉庫前で行います。
フィールド競技は各競技場所で行います。
- (2) 招集時刻は、競技開始時刻を基準として下記のように定めます。
 - ・トラック競技は、**競技開始時刻の30分前に開始し20分前に完了**。10分前にはスタート地点に集合して下さい。
 - ・フィールド競技は、**現地にて40分前に開始し30分前に完了**。
- (3) リレーのオーダー用紙は、各区分の招集完了時刻の1時間前までに招集所の競技者係に提出してください。オーダー用紙はTICに用意しています。
リレーのメンバー変更について、メンバーのうち少なくとも2名はそのリレーに登録した競技者でなければなりません。その条件を満たせば同一団体で他の種目にエントリーしている競技者を出場させることも可能です（TR24.10）。及び、複数のリレーチームをエントリーしている団体の場合、他のリレーチームに登録している競技者を出場させること（例：Bチームに登録している競技者をAチームで出場させること）も可能です。ただし、1人が2つ以上のチームに出場することは出来ません。
- (4) 招集に遅れた場合は競技に出場できないので、時刻を厳守してください。

- (5) 招集時刻に他の種目に出場などの理由のある場合は (4) の限りではないので、必ず競技者係主任に前もって申し出てください。
- (6) 招集場所へは、競技に出場するユニフォームにアスリートビブス(トラックは腰ナンバー標識も〈以下、サイドビブスと呼ぶ〉)を付けた状態で集合してください。
3000m 以上の競技は専用ビブスを主催者が用意します。
靴底の確認が必要な方は、競技に使用するシューズも持参してください(ただし、小学生はシューズの確認の必要はありません)。
- (7) 競技者は競技役員の指示に従って、危険のないよう競技場に入場・退場してください。

5 競技方法

- (1) トラック競技は、写真判定装置を使用します。同記録の場合には、1/1000秒まで確認し判定します。それでも判定がつかない場合は、同着とします。
- (2) トラック競技は、タイムレース決勝とします。
- (3) セパレートレーンで行う競技種目で棄権があった場合は、そのレーンを空けて競技を行います。
- (4) 400mまでのトラック競技とリレー種目の第1走者(小学生を除く)は、スターティングブロックを使用します。
小学生5・6年の部の100mでは使用しても構いません。
小学生1・2年、3・4年の部の100mではスターティングブロックを使用できません。
- (5) 800m以上の競技は、オープンレーンでのスタートで行います。ただし、高校・一般800mに限りセパレートスタートとします。なお、状況によりグループ別スタートを行うこともあります。
- (6) 中学ハードルは次の規格で行います。
男子 110mH 高さ 0.914m インターバル 13.72m-9.14m ・・14.02m 台数 10 台
女子 100mH 高さ 0.762m インターバル 13.00m-8.00m ・・15.00m 台数 10 台
- (7) リレーの助走マークについては各校で用意してください。使用したマークはレース後、各校で責任をもって取り外してください。
- (8) フィールド競技の試技順は、プログラム記載の左上から下に行います。2列に記載されている場合は、左列の後右側が行います。
- (9) 走幅跳、砲丸投、やり投の試技について、全員3回試技を行い上位8名が引き続きトップ8の試技3回を行い最終順位を決定します。しかし、天候や競技時間、申し込み人数によっては3回の試技で順位を決定する場合があります。
- (10) 砲丸投・やり投競技は次の規格で行います。

種 目	重 さ	種 目	重 さ
男子 一般砲丸	7.260 kg	女子 壮年砲丸	4.000 kg
男子 高校砲丸	6.000 kg	女子 中学砲丸	2.721 kg
男子 壮年砲丸	5.000 ・ 4.000 kg	男子 一般やり	800 g
男子 中学砲丸	5.000 kg	男子 壮年やり	600g
女子 高校・一般砲丸	4.000 kg	女子 高校・一般やり	600g

- (11) 走高跳のバーの練習の高さ及び上げ方は次の通りとします。ただし、参加競技者の競技力等を判断

し、現地で変更する場合があります。

<中 学>

男 子 練習 1m30or1m50／1m35 1m40 1m45 1m50 1m55 1m58→以後 3 cmずつ

女 子 練習 1m10or1m30／1m15 1m20 1m25 1m30 1m35 1m38→以後 3 cmずつ

<高校・一般>

男 子 練習 1m50／ 1m55 → 1m60 → 1m65 → 1m70→以後 3 cmずつ

女 子 練習 1m20／ 1m25 → 1m30 → 1m35 → 1m40 →以後 3 cmずつ

※ 1 位決定のためのバーの上げ下げは 2 cm とします。

- (12) 競技用具は競技場備え付けの物を使用します。ただし、持参した用具を希望する場合は、日本陸連検定済みのもので競技前に主催者による検査を受け使用許可を得なければなりません。また、許可された用具は、他の競技者にも使用させねばならず、万一破損があった場合でも主催者はその責任を負いません。

(13) 競技用靴について

スパイクピンの長さは 9 mm 以下・走高跳のみ 1 2 mm 以下です。

靴底の最大の厚さ（購入時から装着されているオリジナルのインナーソールを含む）は、2024 年 10 月 31 日までは以下の通り（TR5.2）。

種目	靴底の最大の厚さ	要件・備考
フィールド種目 (除：三段跳)	20 mm	全投てき種目と高さを競う跳躍種目および三段跳を除く、長さを競う跳躍種目に適用。 全フィールド種目で、靴の前の部分の中心点の靴底の厚さは、踵の中心点の靴底の厚さを超えてはならない。
トラック種目 (800m未満の種目、 ハードル種目を含む)	20 mm	リレーにおいては、各走者が走る距離に応じて適用する。
トラック種目 (800m以上の種目、 障害物競走を含む)	25 mm	リレーにおいては、各走者が走る距離に応じて適用する。 競技場内で行う競歩競技の靴底の最大の厚さは、道路競技と同じとする。

6 スタートについて

- (1) 不正スタートにおいて、不正スタートの責任を有する競技者は 1 回で失格とします。
ただし小学生競技では、同じ競技者が不正スタートを 2 回行った場合に失格としますが、参考記録として走れるものとします。
- (2) 競技者が TR16.5.1、TR16.5.2、TR16.5.3 を行った時はイエローカードを提示し、警告を与える場合があります。累積 2 枚のイエローカードを受けた競技者は当該種目を失格としますが、それ以後

の種目の出場を妨げません。

(3) スタートの発声はすべて英語で行います。

7 アスリートビブス (ビブス)

(1) アスリートビブス (横 24 cm×縦 16 cm) を 2 枚および腰ナンバー標識 1 枚を各校・各自で作成してください (スタートリストで確認)。都内の高校生は各自の高体連登録番号で作成 (高校の大会で使用しているもの) してください。

3000m、5000mは主催者が用意する専用アスリートビブスを付けます。 招集所で受け取ってください。フィニッシュ後回収するので、取り外して回収箱に入れてください。

(2) 胸と背に確実につけてください (ただし、跳躍種目の競技者は胸または背部のどちらか一方でも構いません)。

(3) トラック競技出場の**サイドビブス**を右腰やや後方に、装着した状態で招集場に集合してください。

(4) 安全ピンも各自で用意してください。

8 表彰について

【足立陸上競技大会】

足立区陸上競技協会会長表彰で、1 位には盾と賞状を 2・3 位には賞状を授与します。

(足立陸上競技大会はすべての競技者対象)

【足立区民陸上】

足立区長・足立区体育協会会長表彰で、各種目 3 位までに賞状を授与します。

(区民大会資格者が対象)

小学生の部と中学生の部には記録証を発行します。ただし、小学生は公認記録対象外です。

(高校・一般、壮年の部には記録証はありません。有償 1 部 3 0 0 円で発行いたします。ご希望の場合、TIC でお申し込みください)

賞状等は競技終了のおおむね 3 0 分後から T I C に配置します。団体で申し込んだチームは団体別に配置する封筒またはトレイから、各自持ち帰ってください。個人申込みの方は、個人申込者を取りまとめた封筒またはトレイから、各自持ち帰ってください。

9 リザルト掲示について

本競技会において記録の掲示は行いません。

すべての記録は W E B での記録速報版をご利用ください。

足立陸協 HP をリンクしてご覧ください。

賞状・表彰・記録証の後日発送は致しませんので、当日必ずお受取りください。

大会終了後 1 ～ 2 日で、全記録が足立区陸上競技協会ホームページにて確認できます。

<http://adachi-rk.main.jp/>

※主催者が大会で撮影した写真や大会の記録、氏名、所属名等が足立陸協ホームページに掲載されます

が、ご理解ご協力をお願いいたします。

個人情報の制限が必要な競技者は、足立陸協宛にご通知いただきますようお願いいたします。

10 競技場使用の注意

- (1) T I Cは正面玄関外側に置きます。
- (2) 競技者・指導者・引率者の出入りはフィニッシュ付近スタンド横のゲートの1ヶ所のみとし、その他全てのゲート等は閉鎖します。なお、競技役員の出入りは正面玄関も可です。
- (3) 朝の入場はフィニッシュ付近スタンド横のゲートからとします。
- (4) 本競技会は通常通りでの実施となりますが、スタンドでの応援は譲り合って3密にならないようお願いいたします。
- (5) 芝生席についてはソーシャルディスタンスを取った上で、3密にならないようにテント設営を認めます。
- (6) 練習は危険の無いよう競技役員の指示に従って行ってください。
※投てき競技の練習は、競技開始前のみとします。
なお、やり投げで待機中にやりを持っての素振りは危険ですので絶対にしないようお願いいたします。
- (7) セパレートレーンを使用する競技では、競技者の安全のためにフィニッシュライン通過後も自分に割り当てられたレーンを走行してください。
- (8) 競技場内のセーフティーコーン等設置場所（特に正面スタンド前付近）には競技進行に支障をきたしますので絶対に立ち入らないでください。
- (9) ウォーミングアップなどの練習は、競技や他の競技者に十分注意して行ってください。
- (10) 競技場内にはハードル等の器具は持ち込まないでください。
- (11) リレーの助走マークは、テーピングテープなどを使用し走り終わったら各チームは必ず責任をもって剥がしてください〔前走者が次走者のテープを剥がします〕。
- (12) 競技場外の公園ベンチの占有や緑地での場所取り、テント設営はできません。

11 その他

- (1) 引率者のいない学校や競技役員の指示に従えない学校は参加できません。
- (2) 服装は見苦しくないようにし、ランニングシャツは必ずランニングパンツの中に入れてください。
- (3) スタート前などにアナウンスによる競技者の紹介があったら一歩前に出て手を上げるようにしてください。
- (4) 衣類・貴重品の保管、応援席の清掃は各チームが責任をもって行ってください。
- (5) 各校の顧問の先生には大会運営へのご協力をお願いいたします。
- (6) 競技中の事故については主催者によって応急処置を行います。それ以後の責任は負いません。
- (7) 更衣室の利用は短時間で済ませ、また、盗難には十分注意してください。
- (8) ゴミは各自の責任において家庭まで持ち帰ってください。
- (9) その他不明な点については本部にて照会してください。
- (10) 雨天決行ですが、荒天時は当日6時までにはHPに開催可否を掲載いたします。
または会長辻野までお問い合わせください。

- (11) 区民の方は、本競技会の上位入賞者から、来年度の都民スポーツ大会(陸上競技)へ推薦いたします。
壮年の部の参加者は都民生涯者スポーツ大会へ推薦いたします。
選考されましたらご協力のほどよろしくお願いいたします。

【競技会における撮影行為についてのお願い】

昨今、悪質な写真（ビデオ）の盗撮が横行しています。選手達をこれらの被害から守るために、競技会中の撮影を下記の場合に限らせていただきます。ご理解とご協力をお願いいたします。

- ① 大会運営本部より許可され、腕章またはビブスを着用したカメラマン及び大会事務局
- ② 大会出場学校、クラブ等の関係者
- ③ 当該選手の保護者、家族等

競技会中、上記に該当するか確認をする場合があります。その際は、状況をご理解の上、ご協力お願いいたします。不審者を見かけた際はお近くの競技役員までお知らせください。

【大会主催者の免責事項について】

大会主催者は競技会に関わる全ての人の感染に対するいかなる責任も負わない。
本大会は、競技者・大会役員に対するイベント（マラソン）保険に加入している。

【保険会社】 三井住友海上火災保険株式会社

【補償内容】 イベント（マラソン）保険

死亡 200万円

入院（1日180限度）：3000円

通院（1日90日限度）：2000円

【連絡先】 足立区陸上競技協会 会長 辻野 清 （携帯）090-1424-8341